

天才



反田中の急先鋒だった石原氏が、今なぜ「田中角栄」にひかれるのか…。

石原 慎太郎 / 著
私の好きな本の中に、田中角栄元総理についての数冊あります。これは、石原慎太郎氏が田中氏に成り代わり、一人称の小説として書いた本です。

卒業シーズン。香南市の中学校4校では、3月12日に卒業式が行われ、私は赤岡中学校へ行かせていただきました。

卒業生が順番に読む答辞は、その言葉の一つ一つから上級生と下級生の仲の良さがひしひしと伝わるものでした。そして、在校生から卒業生へ4つのメッセージが送られました。懸垂幕により披露されたメッセージを紹介します。

夢にときめけ明日にきらめけ!
可能性は無敵大!
努力は報われる 自分に負けるな!
いつも笑顔を大切に!

市長談話室

38

香南市の子育て支援 ②

人口減少対策の重点施策として位置づけている「子育て支援」。香南市では、子育て支援のさらなる充実強化を図るため、平成28年度から新たな事業に取り組みます。その事業の中から今月号は、「子育て世代包括支援センター」と「ファミリー・サポート・センター」についてお知らせします。

2つの子育て支援

◆子育て世代包括支援センター

子どもの誕生や成長は、大きな喜びや楽しみを与えてくれる一方、日々の子育てには大変なことも多くあります。また最近では、核家族化や転勤等で育児のサポートがないなど、妊娠・出産・育児について様々な不安や負担を感じることも増えています。

そこで、妊娠からの切れ目のない支援を行うため、母子健康手帳の交付時に保健師が直接すべての妊婦と面談を行い、不安や悩みの相談、情報提供ができるよう昨年の5月から母子健康手帳の交付窓口を一本化しました。

そして、今年度からは様々な機関

が個々に行っている支援を産前・産後子育て期までワンストップで行う「子育て世代包括支援センター」を赤岡保健センター内に設置し、専任の保健師(母子保健コーディネーター)による子育て支援を行います。

あわせて、早期に児童虐待等を発見するため、児童虐待防止対策コーディネーターを福祉事務所に配置し、母子保健コーディネーターと連携を図りながら、妊産婦から子育て家庭へのサポート体制を充実させていくとともに、平成29年度からの総合子育て支援センターの開設に向けて、連

携の取り方についても検討を進めていきます。

◆ファミリー・サポート・センター

仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境づくりを進めるため、今年度から子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)を実施します。

この事業は、子育ての支援を受けたい人(依頼会員)と子育てを支援できる人(提供会員)がセンターに登録し、急な用事や仕事の時など、保育所への送迎やその後の預かり、児童クラブ終了後の預かりなどの必要がある場合、センターのアドバイザーが提供会員と依頼会員との連絡調整を行い、地域での育児の相互援助活動を推進します。

この事業を普及拡大させることにより、地域の支え合いによって幅広い子育てニーズに対応できる仕組みづくりを進めていきたいと考えています。



清藤 真司



こんな防災学校 4限目



記録的短時間大雨情報を知っておこう

短時間の豪雨で浸水することも (平成26年8月の台風11号:夜須町)

防災のススメ

「もしも」に備えを! ⑰

■防災対策課 ☎57-8501

大雨警報が発表されている間に、数年に一度しか現れないような1時間雨量が観測されることがあります。こうした状態は重大な災害に結びつく場合が多いため、気象庁から「記録的短時間大雨情報」が発表されます。

短時間で周囲の状況が一気に変わったり、時には命の危険にさらされることもありますので、よく理解しておきましょう。

記録的短時間大雨情報の特性は…

この情報が発表されたときは、香南市、または近隣で災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。

発表された場合は、より一層の警戒が必要になり、香南市では1時間雨量が120ミリメートル以上の地域に発表されます。

ゲリラ豪雨だけでなく台風などによって長期間雨が降り続き、雨によって災害の危険性があると判断をされた場合に、大雨警報だけでなく記録的短時間大雨情報を発表し、注意を促すようにしています。



大雨特別警報とは違った情報です

- 大雨特別警報… 大雨が数時間以上継続するような現象時に発表。
- 記録的短時間大雨情報… 継続時間が1時間程度の「局所的大雨」の時に発表。



記録的短時間大雨情報が発表された場合はどうしたらいいのか

発表された時点で、すでにすさまじい豪雨となっています。道路が冠水している場合は無理して避難所へ行かず、自宅の上階へ移動するなど、周囲の状況に合わせた対応をしてください。

注意するのは大雨だけじゃない!?



一連の雨により土砂災害の危険が高まると、「土砂災害警戒情報」が発表され、土砂災害の危険が高まっていることが伝えられます。情報収集を続けながら状況を常に確認し、避難の準備や避難行動を取るようにしましょう。